

希少生物情報掲載により口外禁止

◆植物：植物調査結果の概要

- 事業区域内で多数の重要種を確認。
- 地域個体群への影響が大きい種（サルメンエビネ・ヤマシャクヤク・トケンラン・ナガハシスミレ）は移植により個体を保全。
- 重要種の一部を仮移植地に移植（R1.11）、現在残りの移植候補地を検討中。

調査日：H30年8～9月、H31年4～6月、R1年9～11月、11月21～23日（仮移植）、R2年5～6月（仮移植モニタリング）、8月（移植候補地選定）

希少野生生物情報を掲載しているため、
非表示としています。



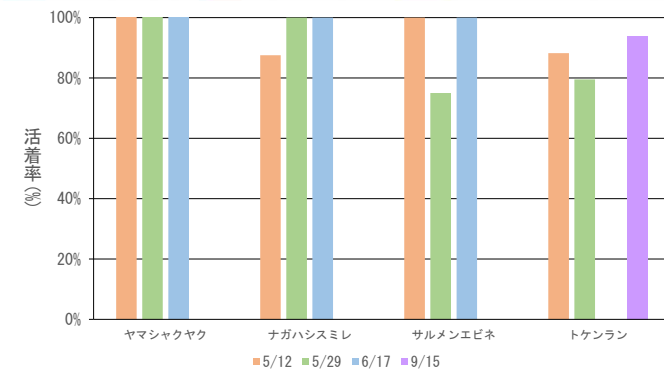
仮移植地の状況
R2.5.12撮影



ヤマシャクヤク仮移植地
R2.6.17撮影



ナガハシスミレ仮移植株
R2.6.17撮影



⇒仮移植の経過は良好。今年度11月に本移植を実施（現在移植適地を検討中）。

⇒消失する植生の復元、および外来種の侵入を防ぐため、在来種による緑化を検討。

希少生物情報掲載により口外禁止

◆重要種の個体保全 ⇒移植

- ・ 改変域に生育する重要種（サルメンエビネ、ヤマシャクヤク）を移植。
- ・ 改変区域外の自生地への移植を検討。
- ・ 移植選定調査（群落組成、土壌水分、照度等）実施済み（国有林内含む）、現在移植適地検討作業中。
→R2.11以降に本移植を実施

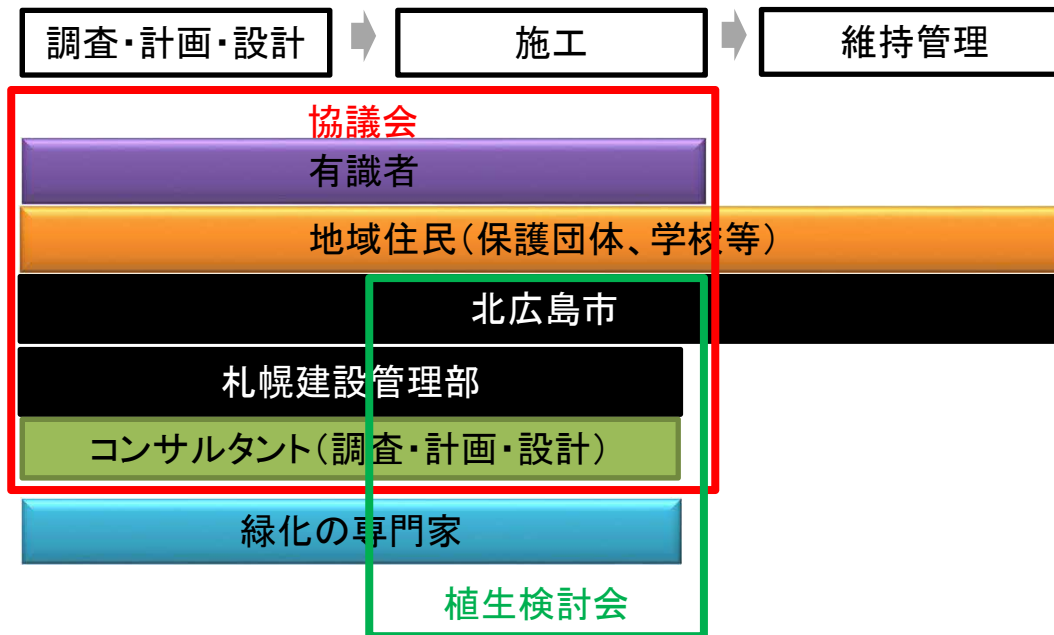


◆植生の消失、外来種の侵入が懸念

対策として在来種による緑化・復元（植生検討会による検討）

- 改変により植生が消失し、新たに裸地（法面や工事用道路跡地）が出現する。
- ⇒・植生の復元、および外来種侵入防止のため、在来種による早期緑化を検討
- ・①在来種による緑化
 - ・②表土ブロック移植工による植生復元 ③法覆基材工による植生復元

道道きたひろしま総合運動公園線 植生対策の進め方(案)



◆植生の消失、外来種の侵入が懸念
 対策として在来種による緑化・復元（植生検討会による検討）

| | | 緑化・復元方法 | | |
|----------|--------|-------------------|------------------------------|----------------------|
| | | ①在来種による 緑化 | ②表土ブロック移植工 による復元 | ③法覆基材工による 復元 |
| 対象箇所 | | 切土法面 | 盛土法面・工事終了後の工事用道路・ヤード | |
| 採取箇所 | | - | 改変域のうちササ類の 少ない林内 | 改変域 |
| 仮置き場所 | | - | 工事用道路周辺 | 近隣の土捨場 |
| 実施 時期 | 2020年 | 試験施工 | 表土ブロック採取場所 選定 はぎとり・仮置き | 表土採取場所選定 すきとり・仮置き |
| | 2021年 | モニタリング 種選定・本施工 | モニタリング | |
| | 2022年～ | 本施工 | 移植・復元 | |
| 復元後の維持管理 | | 地域等によるモニタリング | | |

*施工業者へ詳細に指示し、連携して進める。


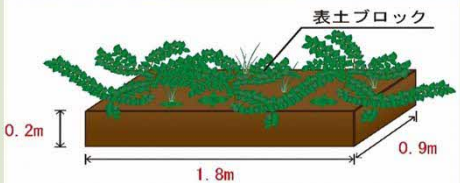
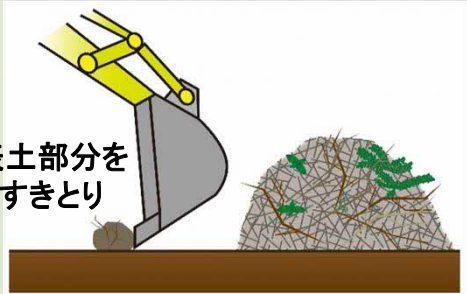
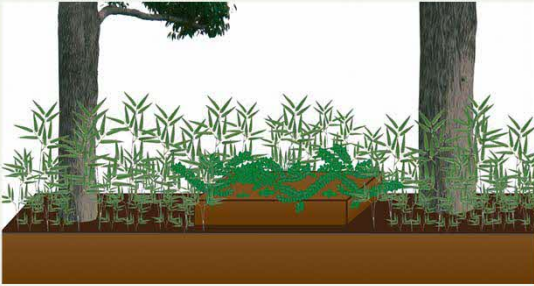
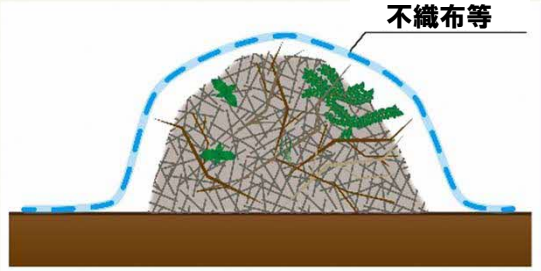
◆植生の消失、外来種の侵入が懸念
 対策として在来種による緑化・復元（植生検討会による検討）

緑化方法：在来種による緑化（試験ケース）

| ケース | 種子構成 | | 構成理由とねらい |
|-----|--|--|---|
| | 在来草本+木本（低木） | 補助（クリーピングレッドフェスク） | |
| 1 | ススキ（秋の七草） エソノコンギク エソヤマハギ（秋の七草）（低木） | 無し | 現地に自生する在来草本+在来低木のみの構成とし、在来草本のみで初期緑化が確実に確認する。 |
| 2 | 同上 | 播種量39(g/100m ²)(期待本数100株/m ²) | ・在来草本のみでは、初期緑化が不十分である事を想定し、それを補うために、 <u>クリーピングレッドフェスクを加える。</u> ・木本類の発芽・生育の影響にならない範囲で、クリーピングレッドフェスクの割合を変えて比較する。 |
| 3 | 同上 | 播種量98(g/100m ²)(期待本数250株/m ²) | |
| 4 | 同上 | 播種量195(g/100m ²)(期待本数500株/m ²) | |
| 5 | 同上 | 播種量391(g/100m ²)(期待本数1,000株/m ²) | |

- ◆ 植生の消失、外来種の侵入が懸念
 対策として在来種による緑化・復元（植生検討会による検討）

復元方法事例

| | 表土ブロック移植工 | 法覆基材工 |
|------|--|--|
| 工法 |  <p>かたまりで 根こそぎ すくい取る</p>  <p>表土ブロック</p> |  <p>表土部分を すきとり</p> |
| 保管方法 | <p>重ねず平積みとして光合成を確保 保水方法等を検討中</p>  | <p>種子侵入防止のため 不織布等 を設置 保管形状と最良な管理方法を検討中</p>  <p>不織布等</p> |

出典：表土ブロック移植の簡易工法による盛土法面の生態系復元の評価